

情報連絡一覧票 (北海道中央会・平成29年8月分)

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	味噌・醤油	味噌出荷量 (道内) : 単月 (29年7月) 前年対比 92.7% 醤油出荷量 (道内) : 単月 (29年7月) 前年対比 87.0% ・7月単月 (道内) の出荷量は味噌、醤油とも前年割れ。 ・1月～7月の道内累計出荷量も、前年対比で味噌93.7%、醤油で89.1%と相変わらず悪い。秋以降の出荷増に期待したい。 (全道)
	水産食料品	・原材料の価格が平均1割上がっている。9月からはさらに運賃が2割上がる予定で、先行きが不安である。 (函館)
	飲料	・8月は気温の低い日が続いたが、雨の日が少なく祭り等のイベントに悪影響がなかったため、微かに売上が増加したようである。 10月1日より最低賃金が約3%増の810円になるが、業界中小企業ではコストアップに悩まされる。製品へ価格転嫁が出来るかがポイントとなりうる。 (全道)
木材・木製品	一般製材	・カラマツ、エゾ・トドマツともに、製材及び原木の市況は先月と変わらず保合。 ・カラマツ、エゾ・トドマツともに、在庫は確保できているが、小径木は、未だに不足が続いている状況。 ・カラマツの梱包材等の動きは、先月と変わらず。注文量は、2週間程度を維持している。(オホーツク) ・カラマツ製材の受注は、比較的安定した状況である。(十勝) ・エゾ・トドの荷動きは順調。プレカットの生産が引き続き好調である。(オホーツク) ・小径材不足で中径材を使用することで、原料単価が上がっている状況にある。製品価格に転嫁が出来ないため苦慮している。製品価格の値上げが必要と考えるが、受ける側の理解が難しい状況にある。 (全道)
	一般製材	・受注ロットが細かく生産工程での切り替えが多くなり生産効率及び歩留まりが悪い。 ・単価はまだ従来の価格を維持できていることが救い。 ・人材確保がかなり切実な問題。 (幕別)
紙・紙加工品	加工紙	・前年同月と変化ない。 (全道)
窯業・土石製品	生コンクリート	・8月の生コン出荷量は344千㎡で、前月比は4.5%減、前年同月比は12.4%増となった。 ・地域別には、前年同月を上回った分会 (協組) は29分会 (協組) 中、22分会 (協組) で前年 (増加は15分会 (協組)) を上回った。前年同月と比較して増加したのは、日高、十勝地方、北見地方など。一方、減少したのは函館、岩宇、南北海道などであった。 (全道)
	砕石	・災害復旧工事による需要増が見られる地域がある。 (全道)
	砕石	・8月度の出荷数量、売上高については、路盤用では上下水道関連・外構工事などで、生コン用、アスファルト合材用ともに前年対比増加した。 (札幌)
	砕石	・安定供給に努めている。 (帯広)
鉄鋼・金属	鉄鉄鋳物	・自動車は前年並みで、水道資材やマンホールはやや良かった。建機・農機部品も良かった。特殊鋳鋼品はやや悪かった。8月はやや良かったが、景況の上向き感はない。 (全道)
	金属製品	・室蘭製作所の修繕船の手持ち工事がなくなり、現在は函館造船所向け新造船ブロック製作と陸上工事 (橋梁等) だけで、修繕船関連事業所は人員過剰となり (80名程度)、他造船所に出張等に対応している。室蘭製作所は先行きが見えない厳しい状況が当分続くかと予想される。 (室蘭)
業	金属工作機械	・お盆休みもあり、団地内全体の動きは鈍い。唯一、道路工事関係を受注しているところは相変わらず忙しい。 (札幌)

一般機器	金属工作機械	・昨年度と比較すると、お盆の休業期間の違いにより若干だが操業度が減少した。操業度減少に伴い売上高も若干減少した。減少する分は見越しているため、大きく経営に影響するものではないが、受注数が減少する時期に段々とも入ってくるので、気をつけたい。 (江別)
	金属工作機械	・金属加工については、受注が引き続き順調な状況である。 ・技能士資格を持つ企業は受注が順調で、能力いっぱいまで受注しており、注文を断る状況が続いている。 (旭川)
その他製造業	量	・7~8月は特に人手不足の状況もない様子であった。9月からはまた動き出す。 (函館)
	家具	・当業界の全体的な印象では景気低迷が続いていると感じる。景気対策として税制改革など今一度、検討してほしい。 (旭川)

卸売業	各種商品	・全体的に売上減少傾向の中で、収益は好転との回答が多く、在庫の圧縮や流通経費の削減努力が功を奏している。 ・卸団地は全国的に築50年を超過し建物・設備の老朽化対策が課題となっているが、当団地においては1棟の高層ビルへの集約化という再整備計画が具体化しつつある。8月には新卸センタービル設計施工会社を選定した。 (札幌)
	各種商品	・10/4に当組合加入の会社従業員を対象とした、新人セミナーを開催する。30名程度の出席予定。 ・昨年夏の台風以来、通行止めだった日勝峠が関係者の努力により10月末までに復旧の目途がついた。これで十勝からの物流の流れも良くなる。 (帯広)
	野菜・果実	・北海道産人参の出荷が本格化した。 しかし、前月(7月)下旬から安値の低迷状態から脱しきれず、再生産価格を確保できていない。系統出荷団体と協調し、当組合の組合員に対しても、価格の低いSや品位がワンランク下の優品の出荷抑制を促してみたが、強制力のない対策であったため実効性に乏しい。価格浮揚には産地廃棄が一番効果的だが、ケニア出身の環境保護活動家が「もったいない」という日本語が世界へ向けて発信するようになってからは、行政は産地廃棄に非常に消極的になり、消費者の批判の矢面に立とうとしない。「足りないのは困る。少し多く作って、余れば捨てる。」と言っていた行政が…。 (全道)
	菓子	・暑さこそ和らぎ、菓子にとっては良い状況だったものの、前月からの厳しさをやや引きずった市況となった。小売の商況も落ちついており、動きはやや鈍い状況だった。 (全道)
非	各種商品	・8月は全体的に若干伸び悩んだが、呉服、時計、貴金属、メガネ、生活雑貨、パソコン等家電品は好調さを維持しており、特に生活・住宅関連と自動車関連は強かった。1件単価が上昇した業種が増えてはいるが、個人消費は今一つ盛り上がり欠ける。 (札幌)
	各種商品	前年比較 物販見込：103.4% 金融：93.7% ・ショッピングモールの売り上げを中心とした衣料品の売上げが好調で、昨年の西武デパート閉店セール特需を含めた売上げよりも増加している。また、金融売上げが減少したため収益が減少となった。 (旭川)
	各種商品	・道産、地元産の野菜・果実の出る8月は、種類も色取りも豊富で、値段も安く、青果店の店先に立つと購買力をそそられると思うが、消費者の節約志向は強く、じっくり見ても買わないという、財布の紐が固い顧客が意外と多いようである。給料日前や年金支給日前は特にそのような傾向が見えるように感じる。 (小樽)
	各種商品	・8月取扱高は、前年比106%の状況。天候に恵まれ、各地域での消費は平年並みの状況である。観光地ではインバウンドの観光客が増えてはいるが、大きな消費には繋がっていない。生鮮食品等の値段が昨年より高くなったものと安くなったものがあり、家庭生活に与える影響は大きい。 (苫小牧)

小売業	各種商品	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の各組合員の状況について 8月は全体的に天候不順が続く、厳しい状況が続いたとのこと。特に、衣料品関係の組合員からは、気温低下により夏物商品が不調で厳しい状況が続いたとの声が多かった。 ・㈱日専連釧路の8月の取扱高について 8月の取扱高については、カード部門が好調を維持している状況。キャッシング部門、個品ローン部門については残念ながら前年を若干下回る結果となったが、全体的には前月同様、好調を維持している状況である。 <p>(釧路)</p>
	各種商品	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「おでかけリハビリ事業」にメディアや各方面から注目をうけた。月の後半には、案内パンフレットを300件以上の各介護関連施設へ郵送し、連日問い合わせをいただいている。8月27日には、「おでかけリハビリ～よさこいVer.～」と題し、例年開催される公式支部大会「YOSAKOIソーラン祭り道南大会」を見学する企画を実施し、たくさんのご高齢の方々に喜んでいただいた。この事業を通じて、ひとりでも多くのご高齢の方・要介護状態の方々の幸福度が向上し、心身ともに健康になっていただければと思う。 また、函館市が独自支援策として、イカ加工業者団体向けに輸入イカ共同調達経費1億円を補助する方針を補正予算案で打ち出した。好漁とは言うものの業界団体においては、まだまだ予断を許さない情勢が続いているようである。 <p>(函館)</p>
	燃料小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューヨーク市場のWTI価格は8月1日49.16でスタートし、先月末から若干の反落で推移したが、米国原油在庫の増減少で上下に揺れ、さらに米国ハリケーンで主要製油所の操業停止等で45ドル台まで反落するも、月末には製油所操業停止とパイプライン輸送量減少でガソリン価格上昇から原油も反発し、31日には47.23ドルまで反発した。 ・組合員小売店の卸価格も8月はほぼ横ばいとなったが、小売価格も下げすぎ分の修正等の動きが一部SSにあり、下旬に一時改定されたが9月に入ってまた元に戻っているようである。いつもの如く量販店の影響を受け、従来同様安値価格から適正価格に及ばず、利益単価圧縮で、前年・前月と同様厳しい経営を続けているSSが多いようである。
	自転車・自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・売上も修理も回復する傾向はなかった。防犯登録数を見ても、大幅に落ち込んでいることが分かる。保険付きTSマークの賠償額が10月より増額になるが、北海道は自転車動く時期ではないので、来年度に期待したい。 <p>(全道)</p>
	野菜・果実	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高は前年同月比で横ばい。卸売市場全体の入荷量は前年比減少した。 <p>(札幌)</p>
	鮮魚	<ul style="list-style-type: none"> ・観光シーズン継続中にて入店客数は安定している。韓国からの定期就航便、道東圏への誘客活動の影響・効果からか、釧路市中心市街地への国内外からの来街数が引き続き回復傾向にある。変わらず、道東自動車道を利用した地方ナンバー車両も多く見受けられる。 ・夏に合わせたイベント企画等で臨時アルバイトを採用した点では、雇用人員の増加となった。 <p>(釧路)</p>
	燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・8月も原油の値動きは小幅であった。 ・益商戦は、猛暑予想などがあって売れ行きが期待されたが、蓋を開けてみれば天候不順により人の出は低調となり、売れ行きは例年並みまたは悪かったところも散見される。更に例年売れ行きを期待して、価格が下がり、利益を削るところとなり、低調な益商戦となった。 <p>(岩見沢)</p>
	燃料	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢の種々の要因から原油価格が一時高騰し、卸価格が上がったにもかかわらず、依然として末端市場では価格競争の激化傾向が続いており、特に激戦地の安値市況が広範囲に拡大していることが、中小零細企業の経営を圧迫している状況にある。また、散発的に市況の修復地区が出てきているものの、店頭マージンの低位安定が続いており、低燃費車に乗り換えた顧客が一層目立つようになったこと等もあり、危機感をあらわにする販売業者も多く見受けられる。 これまで同様、廃業・撤退の選択を迫られる地元業者も増加しており、特に相当年経過した地下タンクを保有している事業者にとっては、後継者問題、従業員の雇用問題等を含め、厳しい選択を迫られている状況が窺える。 <p>(全道)</p>
	電気機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・8月前半は天候に恵まれ、エアコンなどの季節商品の受注が続いた。7、8月は夏らしい気候が続く、十勝地区の某メーカーのエアコンは前年比の6倍との情報もあった。北電とのエアコンキャンペーンは1,663台と大変好調であった。 <p>(全道)</p>
	中古自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・オークションでの成約ポイントは少々上がっているようである。店舗にもよるが、小売も少々良いようだ。継続的な商品自動車のたま不足が続いている。 <p>(札幌)</p>
農業用機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・7月と変わらない。 <p>(全道)</p>	

業	商店街	各種商品	<ul style="list-style-type: none"> ・藤丸百貨店の7月売上高は、5億2,369万円（前年同月比6.5%増）で、2ヶ月連続前年実績を上回った。 ・7月下旬から各商店街の夏祭りが順次開催され、七夕まつり、花火大会、平原まつりとも今年は天候に恵まれ、多くの人出で賑わった。 ・中心部へ新たに管外チェーン居酒屋がオープン。地場店も移転リニューアルするなど、激しい競争が今後も続きそうだ。 <p>（帯広）</p>
	サービス業	公衆浴場	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料となる重油の変動もなく、可もなく不可もなく現状維持。 <p>（全道）</p>
		ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ・大企業の今年度の情報(IT)化投資は前年度比28%増が見込まれている反面、これらを担うシステム開発技術者不足して、事業の拡大やサービス維持に支障を及ぼすことが懸念され始めている。しかしながら、道内のシステム受託開発企業にとっては、相変わらず首都圏からの開発案件が増加して捌き切れない状況が続いている。そのため、技術者の派遣料金や受託単金が増加し、道内のシステム受託開発企業にとっては人件費の上昇を見込んで企業収益が堅調に伸びている。 ・道内のIT企業でも自宅など職場以外で働く「テレワーク」を取り入れようとする動きが増えている。システム開発を担う技術者にとっては仕事の効率上、職場に通うことなく柔軟に仕事ができることから受け入れやすいが、育児や介護による社員の離職防止、オフィス費用の削減などの他、出退勤管理を含めた労務管理の難しさや中抜けが生じた場合の労働時間の認定や休日取得、深夜や休日の勤務だけでなく、ほかの社員とのコミュニケーション不足の解消などについても手探り状態の企業が多い。当然のことながら、テレワークにも労働法規は適用される。労働基準法に基づいて裁量労働制や事業場外みなし労働時間制を使うこともできるが、トラブルを防止するために運用に知恵を絞っているのが現状である。 ・2018年3月卒業予定の学生の就職活動が空前の売り手市場だった昨年を上回る勢いで内定を得ていると報道されているが、知名度の低い道内の中小IT企業の採用は厳しさを増して就職戦線はまだ終わっていない。1日で選考が簡潔する「1DAY説明選考会」やエントリーシートを廃止して応募のハードルを下げたり、奨学金の返済を支援するなど、採用に知恵を絞る企業も出てきた。 <p>（全道）</p>
		旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・8月の十勝川温泉宿泊入込数は37,581人で前年度比+3,585人、111%の増加となった。観光客は昨年比で道外が156%増加、インバウンドは111%増加となった。 <p>（音更）</p>
		電気工事	<ul style="list-style-type: none"> ・業界的には活況になっている。官庁・民間物件も昨年より増加した。住宅・マンションなども増加、さらに商業施設新設も増加しているため、人手不足もさらに進むとみられる。 <p>（全道）</p>
		左官工事	<ul style="list-style-type: none"> ・業界としていよいよ繁忙期を迎えているが、ここへ来て左官材料単価の上昇と従業員の確保難、請負単価の上昇難などが目立つようである。 <p>（札幌）</p>
	建設業	管工事	<ul style="list-style-type: none"> ・組合員の業況 8月に入り、受注した工事が順調に進捗し工事完了となってきている。また、月末に新たに市内の工事が1本発注され、近隣町村の工事の受注もあり、新築住宅も適度にあることから仕事が切れぬ状況。 ・問題点 慢性的な人員不足から修繕工事に手が回らない状況となっている。 ・地域の実情 土木・建築・設備工事等ほぼ発注が出そろった。全体的に土木工事が少なく、特にAクラスの受注機会が減少している。Bクラスにおいては、公園の遊具更新工事や排水整備工事等の受注機会が増加している。 <p>（名寄）</p>
	運輸業	一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> ・売上については、昨年台風での減少分今年増加しているようだが、農作物が豊作のため、運賃は安くなっている。 <p>（小樽）</p>
		一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年に比べ、物量が若干落ちているように感じる。燃料輸送は若干減少、衣料関連の減少が続いている。 <p>（札幌）</p>
		一般貨物自動車運送	<ul style="list-style-type: none"> ・軟弱野菜（大根・人参等）は昨年同様程度であるが、例年出荷までとはなっていない。馬鈴薯・玉葱も小玉傾向となっており、現在は市況が悪く、出荷状況も良くない。 ・一般カーゴについては、例年並みまで動きが回復しているものの、北海道発の貨物はまだ盛り上がり欠ける。北海道着貨物も気温の低下からか、飲料関係が減少している。 ・域内輸送も道外輸送同様に流通量は増加してきたものの、気温の低下が影響しているのか、飲料関係が減少傾向にある。 <p>（石狩）</p>
一般乗用旅客		<ul style="list-style-type: none"> ・売上高は前年同月比2.7%減少 ・乗務員数は前年同月比5.4%減少 ・7月分チケット取扱高は前年同月比8.2%減少 <p>（旭川）</p>	

行政庁・中央会に対する要望事項

	集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
製 造 業	木材・木製品	一般製材	・国有林をはじめ、公有林・私有林から必要な長級、径級が安定的に供給される体制づくりを望む。 (全道)
	一般機器	金属工作機械	・泊原子力発電所の早期稼働。 雇用対策（人を募集しても応募がないため）に係る補助金説明会。 中小企業向け、停電時に対応する設備投資に係る補助金事業。 外国人研修制度改正に伴う説明会（9月22日に開催予定）。 BCP策定に向けての補助金事業。 (江別)
	窯業・土石製品	生コンクリート	・景気対策として、公共事業費の継続的な確保、住宅投資・設備投資等への刺激策の実施及び北海道新幹線札幌延伸工事の工期短縮等を望む。 ・生コン工場の集約化を推進するための積立金の課税免除等税制措置を創設してほしい。 (全道)
非 製 造 業	小売業	各種商品	・「おでかけリハビリ事業」は、10月1日をめどに推進協議会を立ち上げる予定なので、設立後は、各機関において可能な限りバックアップを望む。 (函館)
	商店街	各種商品	・景気の後退を回避するため、積極的な経済対策を講じてほしい。 (帯広)
	サービス業	旅館	・道東道長流枝PAにスマートインターの早期実現。 昨年の台風被害の復旧工事の進展、十勝川流域の流木処理を望む。 (音更)